

# 令和6年度豊中市PTA連合協議会・第2回役員会

連Pスローガン「豊中っ子の笑顔のために みんなが参加しやすい活動を」

7月16日（火）19時～教育センター

## 次第

（進行：社会教育課）

### 1. 会長あいさつ

三間会長

### 2. 各ブロックより報告

北東部ブロック

枝川ブロック長

北中部ブロック

福永ブロック長

北西部ブロック

藤澤ブロック長

東部ブロック

吉野ブロック長

西部ブロック

寶積ブロック長

南部ブロック

尾川ブロック長

### 3. 教育委員会より報告、質疑応答

長坂事務局長

堤理事

- ・PTAから学校への支援

### 4. 議題案件

- ・学校PTA周年記念事業お祝い金制度
- ・ズームIDライセンス
- ・市長タウンミーティング（希望日時・参加者）
- ・PTA大会2/1（土）13時～15時@文化芸術センター小ホール

### 5. その他

- ・役員からPTA関連の質疑応答
- ・事務局から連絡
- ・次回開催日程の確認

月 日（ ）19時～教育センター

### 6. 閉会あいさつ

会長代行

## 豊中市 PTA 連合協議会・第2回役員会 議事概要

開催日時：7月 16日（火） 19 時～20時50分

開催場所：教育センター研修室、オンラインとのハイブリッド形式

出席者：〈豊中市 P T A 連合協議会〉（以下、「連 P」という）

三間会長（庄内さくら学園）、福永会長代行（3中）、  
尾川書記（豊南）、中村会計（東丘）、菅野副会長（北緑丘）、  
吉野副会長（16中）、寶積副会長（原田）、小泉副会長（箕輪）、  
中村顧問（大池）、岩田顧問（14中）

「ズーム参加」枝川副会長（西丘）

〈豊中市教育委員会〉

長坂事務局長、堤理事、津田学び育ち支援課主幹、

北村次長兼社会教育課長、北田社会教育係長、佐々本主査

### ○次第

#### 1. 会長あいさつ

三間会長から、健康には特に留意いただいた上で、PTA活動を続けていきたい旨、挨拶があった。

#### 2. 各ブロックより報告

○枝川副会長（北東部ブロック）から報告

・保護者負担費無償化に対する意見収集について情報交換した。

○福永会長代行（北中部ブロック）からの報告

・ブロック内の輪番、単P予算について情報交換した。

○菅野副会長（北西部ブロック）からの報告

・スポーツ大会、単P予算の校内環境整備費、入会申込書について情報交換した。

○吉野副会長（東部ブロック）からの報告

・研究大会（4中で実施）について情報交換した。

○寶積副会長（西部ブロック）からの報告

・研究大会（11月に実施予定）、夏祭りイベントについて情報交換した。

○尾川書記（南部ブロック）からの報告

・研究大会かスポーツ大会の実施計画について情報交換した。

#### 3. 教育委員会より報告、質疑応答

北村次長から、PTAから学校への支援について、以下の通り説明があった。

○学校教育活動で最低限必要なものは公費負担とすべきではあるが、寄付者の意思を尊重し寄附の意義を踏まえ、寄付の手続きを進める場合がある。

○公費で負担すべきものとして、学校設備修繕等の学校施設関係・教材費等の学校教育関係が挙げられる。

OPTAからの寄付として、学校行事や地域行事で使用する物品で追加的に購入する物・クラブ活動に関する物・PTA活動に位置付けされる卒業式でのコサージュ等が想定される。

○多くの単Pから予算書を提供いただき集計を行った。47校のPTA予算総額が約18,000万円、そのうち学校への援助金総額が約2,000万円であった。予算レベルでPTA予算の1割程度の金額がPTAから学校への支援として計上されている。

また、以下の事項について、役員と教育委員会での質疑応答があった。

□人件費を除いて、公費の学校予算はどの程度の金額になるのか。PTAの支援が学校予算で占める割合を知りたい。

【回答】後日の確認が必要だが、55校の総額の概算は、学校配当金予算約3.1億円、保護者負担費無償化予算約8.4億円ぐらいだったと思う。それに加え教育委員会が直接執行する学校施設費予算等の費用もかかっている。

※役員会後確認した結果、教職員の人件費を除いた公立の小中義務教育学校55校にかかる予算の総額は約182.6億円であり、PTAから学校への支援の割合は0.1%程度である。

□本来、PTAから学校への支援なしで、学校運営すべきではないか。

【回答】PTAにご協力いただいている現実の全てを是正しようとしている訳ではないが、金額が突出している学校や内容によっては、今後、学校とPTAと情報交換しながら、改善をお願いしていきたい。

□芸術鑑賞補助費としてPTAが負担している芸術鑑賞会は、保護者も参加するのでPTA活動と考えている。この取組みは大変有意義で、PTAとしても継続を切望する声が多い内容だった。

【回答】通常の授業カリキュラムとして設定されている芸術鑑賞に係る費用は公費で負担すべきものである。一方、これら以外に、PTAが独自に企画し、費用負担も担われる芸術鑑賞等の有意義なイベントにより学校教育活動が充実することまで否定するものではない。

三間会長から、「PTAから学校への支援」は積年の課題である。今回、単Pから提出された予算書を確認いただき、改めてPTAが様々な支援を行っている現実を具体的に理解いただきたい。今後、より一層多くの場面で、教育委員会から学校に、PTAと相互理解できるよう、発信いただき、PTAからの支援額をゼロにする第一歩としたい旨、発言があった。

長坂事務局長から、平均すると、PTA予算の1割を学校に援助するように予算計上していただいている事を感謝するとともに、重く受け止めている。中長期にわたる取り組みではあるが、学校教育活動で教育委員会が負担すべきとしているものについては改めて学校への周知を徹底し、PTAの負担を減らせるようにしていきたい。

ただ、教育委員会としては、PTA側の自発的な考えによる寄付はありがたいものとも認識している（PTAからの寄付を全て無くすことまでを考えているものではない）。旨、発言があった。

北村次長から、今後、PTAから学校への支援の状況の詳細な内容を知りたいので、令和5年度の単P決算書をいただきたい旨、発言があった。

津田主幹から、地域学校協働活動推進員（学校支援コーディネーター）の募集について以下の通り、説明があった。

○地域と学校の架け橋となり、地域と学校との情報共有や、様々な活動を行う地域住民への助言や援助を行う「地域学校協働活動推進員」を幅広く募集している。

○PTA関係者・元教職員・自治会関係者・NPO法人関係者が想定される対象者だが、地域活動に意欲をお持ちのかたに参加いただきたい。

○学校との協働活動（登下校の見守り・環境整備等）、放課後の学習活動、体験活動（自然体験・職場体験等）が主な活動である。

#### 4. 議題案件

##### ・学校PTA周年記念事業お祝い金制度

事務局から、連P総会で予算承認された学校のPTA周年記念事業お祝い金制度の規程・申込書について説明があり、承認された。

##### ・ズームIDライセンス

事務局から、連P総会で予算承認されたズームIDライセンス貸出しの規程・申込書について説明があり、承認された。

##### ・市長タウンミーティング（希望日時・参加者）

事務局から、市長タウンミーティングについて説明があり、11月中旬頃（平日昼間）の実施希望を秘書課に提出することとなった。

##### ・PTA大会2/1（土）13時～@文化芸術センター小ホール

事務局から、PTA大会について説明があった。

催し内容や講演会の内容や講演者希望等について、ブロックで話し合ってもらい、その意見収集を提出して、次回の役員会で議論することとなった。

#### 5. その他

##### ・役員からPTA関連の質問

中村顧問から、大阪府PTA協議会について以下の通り説明があった。

○令和6年度の府P役員に豊中市連Pから3人派遣している。三間会長と中村顧問が府Pの副会長、岩田顧問が会計監査を担っている。

○府Pに4つの委員会があり、その中に、「備えあれば憂いなし防災委員会」がある。三間会長と中村顧問がその正副委員長を担っている。活動方針の1つの「単Pの防災状況に関するアンケート」を実施するので協力いただきたい。

○府P「総合保障制度」（個別で加入する保険）について、事務的な関係で令和7年度から掛金が上昇する。

#### ・事務局から連絡

事務局から、PTA会費徴収の口座引落とし手数料について以下の通り説明があった。

○令和6年度から、PTA会費徴収の口座引落とし手数料をPTAで負担いただくようお願いしていたが、令和6年度に限り、北おおさか信用金庫と提携している学校（17校）のPTAの負担は不要になった。

○北おおさか信用金庫との提携方法（口座引落とし手数料等の支払い）については、インターネットバンキング利用料の年額払い22,000円のみになっている。令和6年度は修学旅行積立金等の返金作業での口座引落としの利用が学校で必要になるので、その22,000円を公費負担することになった。

○令和7年度以降は学校での利用が無くなるので、今後、北おおさか信用金庫と提携方法について改めて調整する。その調整後、PTAでの負担額が決定しだい、お知らせする。

#### ・次回開催日程

次回役員会の開催日時については、9月10日（火）19時～地域共生センター大会議室で開催することとなった。

#### 6. 閉会あいさつ

福永会長代行から、各ブロックとも有意義な意見交換を深め、単P連Pが連携した状態になるようにしていきたい旨、挨拶があった。